

図面を正しく理解するための

図面の読み解き方セミナー

ものづくり企業で
図面に接する方
必須

初心者向け 1日コース

1回目:2026年 6月19日(金)

2回目:2026年 12月16日(水)

9時~17時 (昼食休憩1時間含む)

狙い 》 図面に記載された各種情報を読み取り設計者の意図を正しく理解できる基礎知識を習得する。

対象 》 図面に対して特殊な教育を受けていないが、仕事上図面を読み取る必要のある初心者の方。

(製造担当者 (機械加工、溶接、組立等)、発注業務担当者、受け入れ
検査担当者、品質検査担当者、サービス担当者、営業担当者の方など)

募集人数 》 40名

費用 》 12,000円 (テキスト代含む)

会場 》 広島市工業技術センター (広島市中区千田町)

主催 》 特定非営利活動法人 ATAC ひろしま

共催 》 公益財団法人広島市産業振興センター

後援 》 広島市

広島信用金庫

日本経済の土台を支える【ものづくり】の現場に欠かせない図面。その図面には様々な環境を考慮し、こうあるべきだと伝える設計者の思いが込められています。設計者の意図する部品を正しく製作することはもちろん、正しく手配し、正しく検収し、正しく保管管理することが現場の基本であり、そのためには図面情報を読み取る基本的なルールを理解することが前提となります。

このセミナーでは、特に【ものづくり】に使用される機械図面を対象に、図面情報を正しく読み取るための基本的なルールを学習します。

【講師】 小林利隆 ATAC ひろしま正会員

トーヨーエイテック (元マツダ工機部) 出身/工作機械の開発・設計・品質保証業務などに携わる。工作機械の開発・設計においては主に専用工作機やマシニングセンターの開発・設計及び工程設計業務を担当。担当役員として自動車部品製造部門、企画管理部門、表面処理事業部門を幅広く歴任。

1 セミナーのねらい

このセミナーでは、図面に対して特別な教育を受けていないが、仕事上図面を読み取る必要のある初心者の方を対象に、図面に記載された各種情報を読み取り、設計者の意図を正しく理解できる基礎知識を習得することで仕事の品質や効率の向上を目指すことをねらいとしています。

2 プログラム

1. 講義内容

- ・ 部品名称の考え方
- ・ 形や大きさの表し方（寸法/尺度）
- ・ 標準数とは
- ・ 溶接記号
- ・ 寸法精度
- ・ はめあい、同公差表
- ・ 投影法（三角法）
- ・ 線の種類と用途
- ・ 各種図示法（断面指示、部分投影図 等）
- ・ 材料指示（材質・硬さ表示）
- ・ 形状精度。幾何公差
- ・ 粗さ、表面性状

他

2. 演習

- ・ 三角法を正しく理解するために簡単な図面から立体モデルを作成する演習を行います。

（約 1.5 時間程度）

◇受講者持参物

- ①筆記用具（シャープペンシル、消しゴム）
- ②目盛付き定規（15 cm 程度）
- ③ハサミ
- ④セロテープ（またはノリ）（セロテープが望ましい）